

人事給与マネジメント改革について

適正な年齢構成について

本学は「知の統合型大学」として世界水準の研究大学となることを目標として掲げており、この目標を達成するため新たな人事マネジメントシステムを構築し、若返りと年齢構成の適正化を進めることで教育研究の活力向上を目指します。

教育・研究の質保証および若手教員のキャリアパス実現の観点から、特定の年代に偏ることなく各年代バランスよく教員を配置する必要があると考え、理想の年齢構成を以下のとおり定め人事配置を進めていくこととしています。

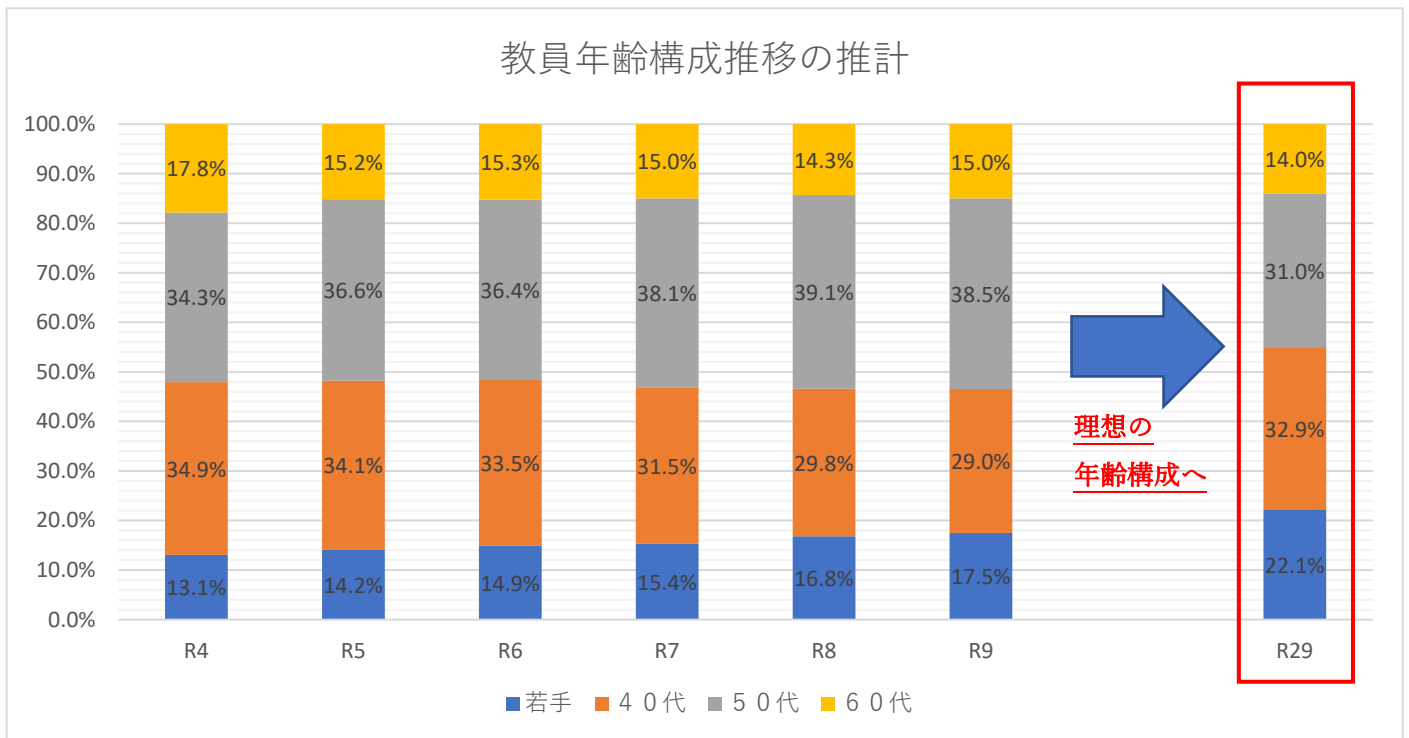
○理想の年齢構成

若手（20代～30代）：20%以上

40代・50代：それぞれ30～35%（両世代併せて65%程度）

60代：15%以下

教員年齢構成推移の推計（令和4年5月1日時点）



在籍比率実績値

《令和4年5月1日現在》※特任教員、クロスポイントメント制度適用教員（他機関からの受入）を除く

区分	教授		准教授		講師		助教		合計		比率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
60代	66	13	4	1	2	0	2	2	74	16	17.8%
50代	114	19	19	7	4	0	3	7	140	33	34.3%
40代	45	12	79	26	1	4	5	4	130	46	34.9%
若手	0	1	38	6	3	5	11	2	52	14	13.1%

《令和5年5月1日現在》※特任教員、クロスアポイントメント制度適用教員（他機関からの受入）を除く

区分	教授		准教授		講師		助教		合計		比率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
60代	60	11	2	1	3	0	2	2	67	14	16.3%
50代	116	18	23	9	4	1	2	8	145	36	36.3%
40代	43	14	70	23	2	3	5	3	120	43	32.7%
若手	0	1	38	5	6	4	15	4	59	14	14.7%